

地方創生関係の交付金について

地方創生関係交付金の概要

(1) 地方創生先行型交付金 (国：26年度補正 交付率10/10 → 市：27年度実施)

済

地方版総合戦略の策定、並びに地方版総合戦略の策定に先行して行う事業であって、地方版総合戦略に位置付けられる見込みのある事業の実施を支援。

(2) 地方創生加速化交付金 (国：27年度補正 交付率10/10 → 市：28年度実施)

済

各地方公共団体の取組の先駆性を高め、レベルアップの加速化を図るため、一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策を踏まえ、地方版総合戦略に位置付けられた先駆的な取組の円滑な実施を支援。

【能代市の実施事業】

ふるさと能代移住定住等応援事業→実施結果は資料3

(3) 地方創生拠点整備交付金 (国：28年度補正 交付率1/2 → 29年度で終了)

地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業のうち、ローカルアベノミクス、地方への人材還流、小さな拠点形成などに資する、未来への投資の実現につながる先導的な施設整備を支援。

【能代市の実施状況】

なし。(旧料亭「金勇」改修整備を申請するも不採択。理由は、本交付金は他の補助制度優先の条件があり、29年度から文化庁の補助制度拡充が決定したためと考えられる。その後、文化庁の「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(補助率1/2)に切り替え、交付決定済。)

(4) 地方創生推進交付金 (国：28年度当初 交付率1/2市：29年度から実施)

地方版総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な取組であって、地方公共団体が地域再生計画を作成し、国の認定を受けた事業の実施を支援。

【能代市の採択事業】

事業名 道の駅を核とした地域活性化プロジェクト

事業概要 重点道の駅「道の駅ふたつ」を地域のマーケティング拠点とし、地場産品の商品開発や6次産業化、販売戦略を展開して産業振興を図るとともに、地元商店街との回遊性の創出や周辺の地域資源を活用した周遊ルート・イベント等の企画、インバウンド観光の取組等を通じて交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図る。

対象事業費 H29 - 6,741千円

H30 - 16,378千円

H31 - 12,106千円